



発行：長野県姫川砂防事務所（北安曇郡小谷村千国乙 10307-3/電話 0261-82-3100）

白馬村・小谷村では「ふきのとう」を方言で『ちゃんめろ』と言います。

三砂防技術研修会

3月5日（火）に犀川砂防事務所の主催により、第3回三砂防事務所技術研修会が開催されました。砂防堰堤の基礎地盤改良について、午前中は、調査・設計から施工方法まで講義があり、午後は生坂村の現場を見学しました。

近年は、地盤の悪いところでも、技術開発により困難な条件を克服して、大きな構造物をより安全に施工できるようになってきました。現場の作業は、基礎地盤改良が無事に終わり、コンクリート打設が順調に進んでいます。作業が進む砂防堰堤の上に登ると、村営住宅を含む集落が見え、この砂防堰堤で土石流を止めて人家を守ることがよくわかります。

研修の内容以外で印象深かったのが、姫川砂防事務所のある小谷村はまだ雪に覆われた白い世界であるのに、少し南に位置する生坂村では、山陰を除けば家の周りの雪はすっかり融け、もう春のような状況だったことです。長野県の自然条件はとても変化に富んでいることを改めて実感しました。



砂防堰堤の上から見た集落の様子



砂防堰堤前面の様子



安全パトロール

3月7日（木）に、建設業労働災害防止協会（建災防）長野県支部大北分会主催による安全パトロールと安全パトロール年次総会が開催されました。

当日は、大町労働基準監督署、建災防大北分会、北安曇地方事務所、大町建設事務所等による合同パトロールが午前中実施され、午後には今年度のパトロールの年次総会が大北建設会館で開催されました。

安全パトロールでは、池田町や大町市で施工中の4箇所の工事現場について、労働災害防止、第三者災害防止の観点から、不適切なものについては是正の措置を講ずるよう指導が行われました。

午後の年次総会では、労働基準監督署から最近の労災事故の傾向や、重点対策の説明がありました。また、安全指導員からは、安全パトロールの総括として、

- ①トラロープを吊り治具に使用している。使用用途が違うので使用はしないこと。
 - ②バックホウ降車時に、排土板、バケットを接地していない。
 - ③電気配線で、屋内用のドラムを使用している。屋外用を使用すること。
- 等の指摘事項がありました。

今回のパトロールでの指摘や年次総会での指導等を踏まえ、今後の現場監督等を通じて労働災害の防止に努めていきたいと考えております。



シリーズ70周年 ～ 姫川砂防事務所管内の特徴と砂防事業 ～

(最終回) . . . * 塩の道について * . . .

日本海側の糸魚川と内陸の信州松本方面を結んだ千國街道（千國古道）は古代から開かれていて、信州からは大豆や麻やタバコなどが運び出され、海のない信州に塩・塩づけの魚などが運び込まれていた。塩が運ばれていたことから「塩の道」と呼ばれている。戦国時代に上杉謙信が敵の武田信玄に塩を送った時に使われたことでも知られている。江戸時代には様々な物資が盛んに行き来するようになった。

一般に道は川があれば川沿いに作るのに、この「塩の道」は川から外れた山の中腹や尾根伝いに続いている。これは姫川の場合、川のすぐそばまで急な断崖がせまっていることや冬は雪崩も多く、大雨が降ればよく洪水やがけ崩れを起こすことから川沿いに作れなかったということである。山道も道幅が狭く険しいところもあるし、冬は雪も多いので塩など荷物を運ぶボッカや牛方たちの苦労は計り知れない。

明治時代に姫川沿いに新しい道路が作られ馬車が通れるようになり塩の道は姿を消すことになった。

所長 退職あいさつ



この3月末を持ちまして、姫川砂防事務所を最後に退職することになりました中山幹英です。退職にあたって一言お礼のご挨拶を申し上げます。

昨年は春先に横川で大規模な地すべりが発生しましたがその後の天候が味方し、県職員最後の一年を無事に勤めることができました。これは、職員はもとより関係する皆様のご協力によるものと深く感謝しています。

また、姫川砂防事務所開設70周年の節目の年の所長として勤務することができたことを大変光栄に感じています。

さて、当地域は、糸魚川-静岡構造線が走る急峻な山岳地帯とフォッサマグナの脆弱な地域があり、大変危険な区域となっています。今回の横川の地すべりが大きな問題となっていないのは人家がないからでした。

12月28日に、土砂崩れが起きていると連絡が入り、職員が直ちに現地に向かったことがあります。空き家となった人家の横の水路が溢れたためでした。人がいて日々確認をし、管理していくことが災害に強い郷土を造るもっとも重要なことだと今年一年姫川に来て感じたことです。

多少不便でも自然豊かなこの村に暮らしていて良かったなと思える安全な地域とするために、姫川砂防事務所がこれからも地域の拠点事務所として住民の皆様に親しまれ、頼りにされる事務所となることを期待したいと思います。

最後に、一年間の短い間でしたが県職員最後の事務所として思い出に残る大変有意義な一年を過ごさせて頂いたことに対して感謝を申し上げますと共に白馬村と小谷村が益々発展することを祈念しまして退職の挨拶とさせていただきます。

本当にありがとうございました。

